

霧ヶ峰“彩り草原空間”構築プロジェクト(長野県霧ヶ峰地域)

- 霧ヶ峰自然環境保全協議会 -

平成20年度 地方の元気再生事業
事業実施調書 参考資料

主な実施取組の内容

【本格展開のための合意形成】

目指すべき100年後の霧ヶ峰の姿とそれを実現する手段の合意形成のため、下記の3つの取組を基に協議会で検討

- ・ 3つの作業部会を設置し、延べ18回の検討を実施
- ・ 4回の協議会(全体会議)で、すり合わせ、検討し、合意

【取組 「草原」「湿原」「樹叢」保全実験調査】

資源としての雑木・草の活用可能性、
湿原環境、植物種の分布、
外来種への対応方法を調査

【4つの報告書】

バイオマス量の把握、湿原環境
保全対策の提言、植生データの
取得、外来植物対策の提言

【取組 ピーク対策実験調査】

通行量・利用客動態調査
公衆トイレ整備方法検討

【2つの報告書】

人と車の動き及び各
地点間の連携可能性の把握、霧ヶ峰に
適した公衆トイレの仕様・費用の把握

【取組 オフピーク対策実行調査】

専門家招聘による効果的な検討:

霧ヶ峰自然環境保全協議会の景観形成・施設整備
及びエコツーリズムを検討する作業部会に招聘
(このほかに保全再生部会が取組 を基に検討)

【作業部会の案】

霧ヶ峰保全再生、施
設整備、エコツーリ
ズムモデル構築の計画

霧ヶ峰自然環境
保全協議会

協議・検討
合意形成

3つの作業部会で
詳細検討

【担い手育成・協働拡大の基盤づくり】

【取組 オフピーク対策実行調査】

「インタープリター発掘型エコツアー」の試行

【10回の「インタープリター発掘型エコツアー」の実施】

インタープリター(霧ヶ峰を訪れる人たちにその自然・歴史
を理解してもらい、霧ヶ峰を満喫してもらうための良質な
ガイドを行う人)の活動に興味を持つ人たち 120人 が
参加。インタープリターの卵を発掘した。

【協働拡大の取組】

霧ヶ峰自然環境保全協議会を通じて保全再生についての
諸団体の取組の連携を促進した。

	平成19年度	平成20年度
霧ヶ峰保全再生 活動参加者数	約1,300人	約1,650人



取組み実施による成果・今後の展開

【成果】

『霧ヶ峰の今とみらい』(霧ヶ峰保全再生計画、霧ヶ峰“彩り草原空間”形成・施設整備基本構想、霧ヶ峰エコツーリズムモデル構築計画の3つから成る霧ヶ峰再生の基本計画)の策定 = 民間・行政を包括する協議会による合意形成 (平成21年2月)

エコツアーの本格実施に必要なインタープリター人材の発掘

多くの人の参画と協働による霧ヶ峰保全再生活動の拡大

【今後の展開】

平成21年度 実用化実験 (バイオマス利用、環境配慮型トイレ等)

エコツアーの担い手育成の本格化、歩いて味わう霧ヶ峰文化の醸成
『霧ヶ峰の今とみらい』の全国発信、一般住民・利用客の理解の促進

平成22年度～ 霧ヶ峰“彩り草原空間”構築プロジェクトの本格展開
自然再生、景観形成・施設整備、霧ヶ峰エコツーリズムモデル構築